

# 憩い 親しみ 楽しめる公園に

本市が8つのリーディングプロジェクトの一つとして取り組んでいる「名切地区再整備」。中でも中核的な事業である「中央公園のリニューアル工事」が来年4月のオープンに向け4月から本格的に始まりました。今回の特集では、中央公園リニューアルの事業概要や、まちづくりの専門家と公園を管理・運営する事業者のインタビュー、リニューアルに関するQ&Aなどをお知らせします。

## 新たな取り組みで新しい公園へ

本市では、中心市街地の貴重な公有地を有効活用し、佐世保を象徴する場として憩いと交流の拠点をつくるため、「名切地区まちづくり構想」に基づき名切地区の段階的な整備を行っています。

中央公園は、公園本来の姿である「市民が憩い、親しみ、楽しむことができるような場所」となるように、リニューアルを行うこととしています。リニューアルに当たっては、時代に合わせて変化する利用者ニーズに柔軟に対応することが必要であると考え、これまでの行政による整備・管理・運営の手法を見直し、民間事業者のノウハウを取り入れるため、PFIとPark-PFIを活用し、全国でも例がない手法を取り入れました。

令和元年度、公募の上市内の造園会社である株式会社庭建を中心とするグループを中央公園リニューアルに当たる事業者として選定しました。現在、このグループによって、中央公園リニューアル事業の実施を目的とする会社（特別目的会社・SPC）「庭建パークマネジメント株式会社」が設立され、事業の進捗が図られています。

来年4月のオープンに向け、ことし4月から本格的な工事が始まった中央公園。本市では、事業者と連携し、中央公園が市民の皆さんだけでなく、広く西九州地域の皆さんにも親しまれる新たなにぎわいの拠点として生まれ変わるよう整備を進めていきますので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### PFI・Park-PFI

PFIやPark-PFI（公募設置管理制度）は、公共施設の魅力と利便性の向上を図るため、民間事業者の資金とノウハウを活用する手法です。民間の投資による飲食店やキャンプ場などの設置によって新たなにぎわいが生まれ、さらにそこから生じた収益の一部が施設整備費などに充当されるなどのメリットがあります。

4月から工事が始まる中央公園スポーツ広場（3月22日時点）

まちづくりの専門家に聞きました

時代の変化に対応し  
みんなでつくる市民の公園へ

中央公園整備及び管理運営事業 事業者選定  
委員会委員長・長崎県立大学地域創造学部

西岡 誠治 教授



約50年前、米軍の居住地だった名切地区が日本に返還され、当時の市民の思いを込めて中央公園は作られました。完成当時の中央公園は最先端の公園であったと思われるが、市民のニーズは時代の流れとともに変化し、現在は人々が集う場としての役割を十分に発揮できていない状態となっています。

このような公園の状況は本市の中央公園に限ったことではなく全国各地の公園でも散見されるような時代背景の下に、近年、都市公園における官民連携を推進する制度が充実してきました。

今回の中央公園リニューアルにおいて活

用されている「PFI」や「Park-PFI」も、公共施設の整備や管理運営に民間事業者の資金とノウハウを導入しようとするものです。民間事業者のノウハウによって、長期的な公園の維持管理の視点を持ちつつ、時代の変化に合わせた柔軟な運営を行うことができるようになり、行政や民間事業者、利用者の皆さんにとって、より良い公園の管理・運営につながることが期待されます。

今回の事業を担われる「庭建パークマネジメント株式会社」は市内の企業が中心となって中央公園リニューアル事業のために立ち上げられた会社であり、佐世保に対する責任感や愛情を持って中央公園リニューアルに取り組みられています。私は今回、事業の事業者選定に関わらせていただきましたが、市内企業の方々の本事業に対する熱意を高く評価しました。本市においても人口減少や少子高齢化の課題を抱えています。庭建パークマネジメント株式会社には時代の流れに合った公園運営を通して、地域の活力向上に取り組んでいただけることを期待しています。

また、市民の皆さんにも中央公園に足を運んでいただき、時にはご意見をいただくことも、中央公園を魅力あるスポットとするために必要です。現在の中央公園ができた時のように、行政と民間事業者だけでなく市民の皆さんも一緒に「みんなで作る市民の公園」として末永く愛される公園になってほしいですね。

取材日 3月29日

中央公園に  
新たな施設が誕生！

①屋外広場

芝生広場、周回遊歩道、ステージなどを兼ね備えたイベントも実施できるエリアです。

②メリッタ kid's (屋内遊び場)

天候などに左右されず、屋内で子どもが遊べる施設です。

③レストラン、カフェ

幅広い年代を対象にした憩いの場として利用者の利便性を高めます。

④コアイノベーション施設

キャンプ場利用案内と物産店の複合施設です。ワークショップなど体験型コンテンツを楽しめます。

⑤デイキャンプ場

レンタルサービスなどを提供します。気軽に日帰りキャンプを楽しめる環境を整えます。

⑥屋外遊び場 (森フィールド)

園内の自然を活かした森遊びを通じ、さまざまな体験ができるエリアです。

⑦オートキャンプ場

公園内で本格的なキャンプが楽しめるエリアです。レンタルサービスも利用できます。

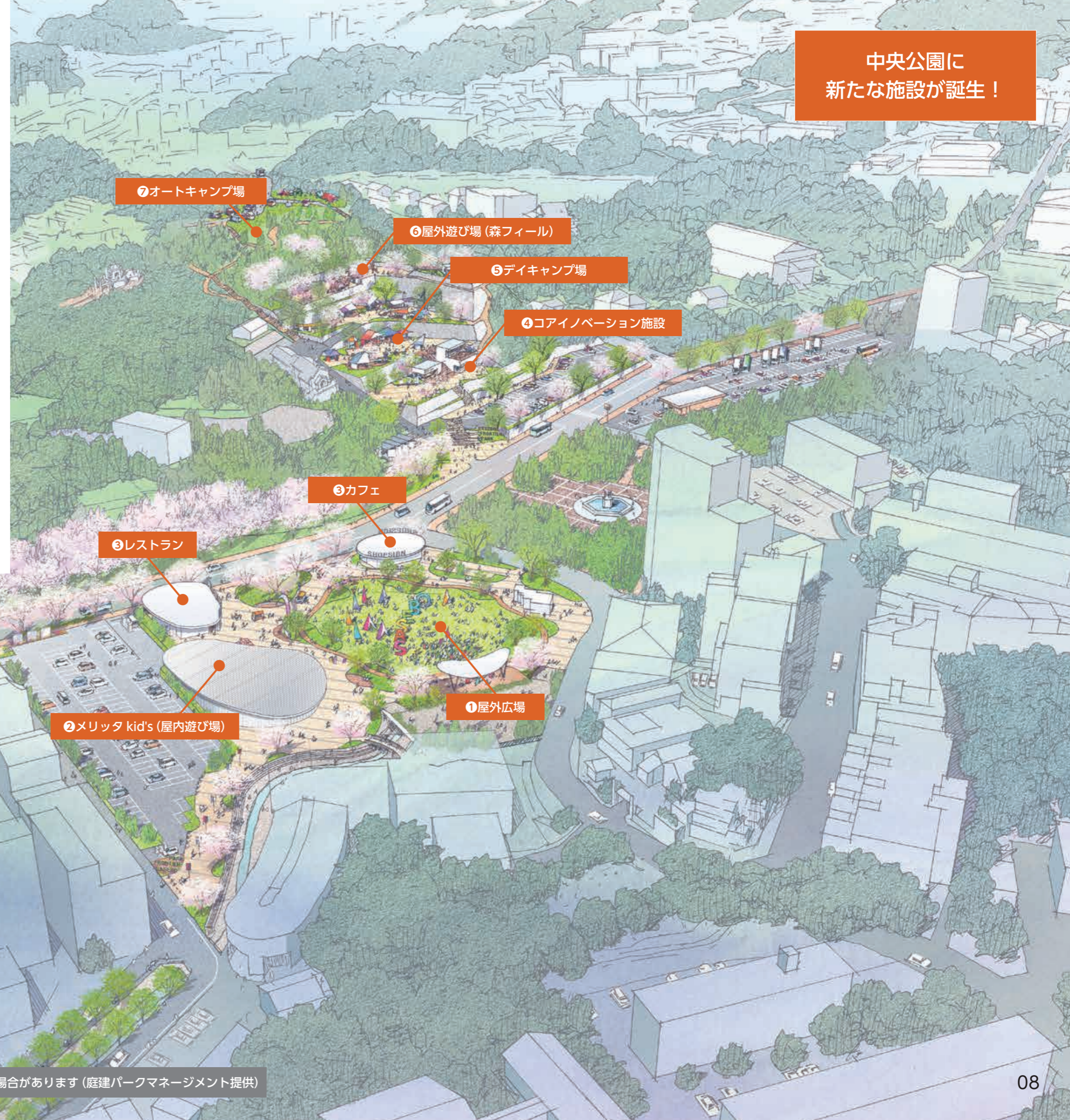
メリッタ kid's (屋内遊び場)



外観イメージ



内観イメージ



## 中央公園リニューアルに関する Q & A

**Q** オープンまでのスケジュールを教えてください  
**A** ことし4月から中央公園スポーツ広場や旧児童文化館一帯の工事に取り掛かっています。リニューアルオープンは令和4年4月2日(土)を予定しています。

**Q** 中央公園リニューアル後のそれぞれの施設は無料で利用できますか？

**A** 屋外広場や屋外遊び場など、基本的な公園利用は無料です。屋内遊び場やレストラン、カフェなどは有料でご利用いただけます。コアイノベーション施設(キャンプ利用案内)で行われるワークショップや、デイキャンプ・オートキャンプなどの体験型コンテンツも一部有料でご利用いただけます。  
 ※料金などの詳細は決定次第中央公園専用サイトや市ホームページなどでお知らせします。



**Q** 名切俵町通線の日曜、祝日の路上駐車規制解除はどうなりますか？

**A** 現在の路上駐車規制解除は、中央公園や交通公園、市民会館など名切地区にある公共施設の利用者のために始められたものです。今回のリニューアルで必要な台数の駐車場を確保できるため、オープンに合わせて路上駐車を再規制するよう警察と協議を進めています。

**Q** 駐車場は有料になりますか？  
**A** リニューアル後、現在の市立図書館の駐車場を含めて、次のとおり有料になります。

車種	普通自動車、小型自動車、軽自動車
料金	最初の1時間無料。以降30分ごとに100円。最大12時間ごとに800円

**Q** 工事期間中、図書館や公園の駐車場は使えますか？

**A** 工事期間中、既存の駐車場は工事の資材置き場等として使用するため、これまで通りの利用はできませんが、図書館第1駐車場が第2駐車場のどちらかを利用できるようにします。また、千住病院前の中央公園第1駐車場を暫定的に開放します。



中央公園リニューアルや名切地区再整備などの情報は随時お知らせします。詳しくは事業者の中央公園専用サイトか市ホームページをご覧ください。

中央公園リニューアルについては専用サイトをご覧ください。



名切地区再整備については市ホームページをご覧ください。



特集に関する問い合わせ 公園緑地課、政策経営課 ☎ 24-1111

リニューアルに臨む事業者に思いを聞きました

## 佐世保の新しい交流の場として 愛される公園を目指して

庭建パークマネジメント株式会社

代表取締役 田雑 豪裕 さん



庭建パークマネジメント株式会社

株式会社庭建、株式会社池田工業、株式会社縣北衛生社によって設立された中央公園リニューアルのための特別目的会社(SPC)

### 名切地区のにぎわいを再び取り戻したい

戦後、名切地区は繁華街で、にぎわいのある地区でした。そこから米軍の居住地になり、軍用地から平和な公園になった歴史があります。今回の中央公園リニューアルでは、中央公園がまちなかにあるというメリットを生かして、市内外から多くの人々が訪れ、近隣の商業施設に人の流れを作り新しい佐世保の拠点となるように、公園の管理と運営を行っていきます。名切地区のにぎわいを再び取り戻して、中央公園が地域の連携を図る役割を担う場所になるといいですね。

### 公園本来の意義と新しい公園との接し方

公園というのは、ただ遊具で遊ぶだけの場所ではありません。公園はもともと緑に囲まれて休憩したり、教育・文化活動で何かを作って体験したり、災害時の避難場所になったりするなど、さまざまな使われ方を許容する公共のオープンスペースです。これまで中央公園でも、同様の使われ方がされてきたと思いますが、今回のリニューアルによって、従来の機能に加えて屋内遊び場や屋外遊び場、まちなかにありながら緑があふれるキャンプ場などの施設が増え、利用の幅が広がります。中央公園を利用する方には、公園本来の価値はもちろんのこと、公園の新たな価値に接していただき、さまざまなことを体感

していただきたいと考えています。

### 利用者と一緒に育てて親しみ愛される公園へ

中央公園が魅力ある公園としてあり続けるためには、時代やニーズの変化に柔軟に対応していく必要があります。そのためには、中央公園を管理する私たちの努力は当然のことながら、多くの方に公園を利用していただき、「公園と一緒に育てていく」ことが必要だと考えています。

多くの方に公園を愛していただけるよう、公園の管理者としてさまざまな取り組みを進めていきます。まずは、工事期間中から名切地区をもっと明るくできるよう、工事の際の仮囲いに、地元の子どもたちに絵を描いてもらうイベントの準備を進めています。その他にも、屋外遊び場に設置する遊具を公園の樹木で作るワークショップや、今回公園に新たに登場する都市型キャンプを体感できるイベントなどを構想しています。公園づくりのアイデアを出し合っ、かたちにしていく活動などを行う公園管理クラブの設立なども予定していますので、地域や利用者の皆さんと一緒に、中央公園が「じぶんの公園」として親しまれ、愛される公園になるように取り組んでいきます。

(取材日 3月30日)



3月26日に中央公園で行われた安全祈願式(左)、安全祈願式での集合写真(中央)、中央公園管理事務所に生まれ変わる建物(右)